

城陽イメージキャラクター「じょうりんちゃん」着ぐるみ使用フローチャート

<申請～許可>

- | |
|--|
| ◎ 「城陽イメージキャラクター着ぐるみ使用取扱要綱」で申請条件等を確認する。 |
| ◎ 「着ぐるみ使用申請書」に記入し、借受け希望日の14日前までに城陽市役所秘書広報課に提出する。 |
| ◎ 城陽市役所秘書広報課より「着ぐるみ使用許可書」が交付される。 |

※使用条件を満たしている方に限られます。

※使用条件を満たしていない場合、「着ぐるみ使用不許可書」が交付されます。



<受け渡し> (最短、申請から14日後)

- | |
|------------------------------|
| ◎ 城陽市役所秘書広報課と受け渡しの時間などを調整する。 |
| ◎ 使用開始日、着ぐるみを借りる。 |



<使用当日>

- | |
|-----------------------|
| ◎ 使用日当日、着ぐるみを実際に使用する。 |
|-----------------------|

※カメラ等で必ず使用状況（じょうりんちゃんのアップではなく、じょうりんちゃんを含めた事業全体の様子が見えるもの）を撮影してください。



<返却>

- | |
|------------------------------|
| ◎ 使用最終日、着ぐるみを返却する。 |
| ◎ 使用后、「使用状況報告書」を写真等とともに提出する。 |

【問い合わせ先・申請先】

城陽市役所 秘書広報課

城陽市寺田東ノ口16番地、17番地

TEL:0774-56-4051（直通）

FAX:0774-56-3999

E-mail koho@city.joyo.lg.jp

城陽イメージキャラクター「じょうりんちゃん」着ぐるみ装着要領

1：事前確認

- 装演者1人、補助者1人を最小限の人員とする。
- イベントなどの演出、進行等について十分に打ち合わせを行う。
- 関係者以外立ち入り禁止、外から見えない控え室を確保する。
- 着ぐるみの脱着は、関係者以外に目撃されないようにすること。
- 着替え場所は清潔な場所で行う。床が汚れているときや屋外で着替えるときは、付属のブルーシートを敷き、着ぐるみを直接地面に置かない。
- 付属のワイヤレス送受信機の使い方を確認する。

2：着ぐるみの説明

着ぐるみの構成は、ボディから靴まで一体となっています。取り出すときは靴を持ちながら全身を持ちあげてください。ファンやバッテリーが内蔵されていますので、落下など強い衝撃を与えないように気を付けて下さい。



- 火気厳禁
- 雨天時の屋外使用厳禁
- 水濡れ厳禁

3：装着のしかた

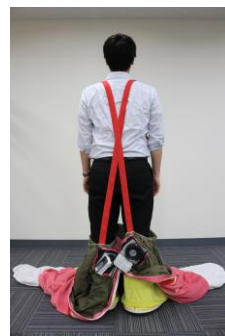
- ①背中中のチャックを開けます。
- ②着ぐるみ内の後方下部にある白い袋にバッテリーを入れ、ファンとを接続します。



- ③靴を履きます。まずマジックテープでかかとを固定し、そのうえで足の甲や指先のマジックテープをしっかりと固定してください。



- ④肩ひもを固定してください。その際には、肩ひもが背中でクロスするようにたすき掛けをしてください。



- ⑤ヘッドカバー（帽子）を装着してください。



- ⑥着ぐるみの中に全身を入れます。

- ⑦バッテリーのスイッチをONにします。

※はじめは「○（offの状態）」にボタンが傾いているので、「－（onの状態）」の方にボタンを切り替える。



- ⑧補助者が着ぐるみの外側から背中中のチャックを閉めます。

4：装演者について

装演者は、18歳以上で、身長は165センチメートル以下であること。

■服装

- 動きやすい格好をする。
- 衛生面を考慮し、素足でシューズを着用しない。
- アクセサリーは外す。

■装演

- 1回の装演時間は30分以内（夏場は15分以内）とし、必ず休憩を取る。
- 行事が長時間に及ぶ場合は装演者を複数体制とし順次交替する。
- 付属のワイヤレス受信機を用いて補助者の指示を仰ぐ。

5：装演者の注意事項

- 着ぐるみの脱着は、関係者以外に目撃されないようにすること。
- 視界および動作を確認し、周囲への注意を怠らないようにする。
- 演技中は声を発しない。
- 炎天下での装演は時間を調節し、必ず水分補給を行う。

- 緊急の場合に備え、補助者へのサイン等を決めておく。
- 乱暴な行為を受けた際も補助者へのサインで対処する。
- 着ぐるみ装着時は休憩中であっても喫煙は厳禁。
- 必ず補助者の指示に従う。
- キャラクターのイメージを損なわないようにする。
- 装演者であることを人に言わない。**
- 後部にファンを備えているため座らない、寝ころばない。

6：補助者の注意事項

- 着ぐるみの着替えは、関係者以外に目撃されないようにすること。
- 装演者の存在を人に言わないこと。**
- 補助者は必ず1人以上つけ、常に周囲に注意を払う。
- 装着後に装着の状況、破損・汚れの有無をチェックする。
- 移動や上演時の補助、握手や写真撮影の際の整理を行う。
- 着ぐるみに危害を加えるお客様方にはハッキリとやさしく注意する。
- ワイヤレス送信機を用いて装演者に立ち位置などを指示する。

7：収納

- ①キャリーケースを開ける。
- ②くつを入れる。
- ③ボディ一式を簡単にたたんで入れる。
(その際、目を折り曲げないよう丁寧に扱う。)
- ④キャリーケースを閉める前にファンやバッテリーなどの電線がはみ出ていないか確認する。(挟んでしまうと断線の恐れがあります。)
- ⑤キャリーケースを慎重に閉める。

8：トラブル

- 汚れたり、破損したりした場合は使用を中止する。
- トラブル(着ぐるみの破損、備品の不足・紛失等)があった場合は秘書広報課に連絡する。

9：返却

- 返却にあたり、使用後の状況を秘書広報課職員とともに確認する。
- 別記「着ぐるみ使用状況報告書」を撮影した写真等とともに提出する。(写真はじょうりんちゃんのアップではなく、じょうりんちゃんを含めた事業全体の様子がわかるもの)